

博士課程在籍者のキャリアパス等に関する意識調査  
ーフォーカス・グループ・インタビューからの考察ー

文部科学省科学技術・学術政策研究所 第1 調査研究グループ  
松澤 孝明、 小知和 裕美

要旨

本調査研究は、文部科学省科学技術・学術政策研究所（以下、「NISTEP」という）が構築を進める博士人材データベース（JGRAD）に2015年秋時点の登録者（11月時点で約2,700名）から抽出した博士課程在籍者22人に対して、10月下旬から11月に博士課程への進学動機や博士課程修了後のキャリアパス等に関する意識調査を行ったものである。調査は、所属する大学や性別、国籍などをもとにフォーカス・グループ・インタビュー（FGI）形式で実施され、その結果を他のアンケート調査や企業に対するインタビュー結果と比較しつつ分析した。また、調査結果をもとに博士人材のキャリアパス問題に関する定性的なモデル等を提案した。

This research is the result of focus group interview (FGI) for 22 monitors who participated in the doctoral human database (JGRAD) in November 2015 during their Ph.D. course. In this interview, we asked their opinions about their motivation to enroll in Ph.D. courses, career-path after graduation of Ph.D. courses and so on. We analyzed these results by comparison with other interview for companies and survey for Ph.D. candidates, including some consideration of models to determine their career-path.